

編集後記

「小児保健研究」第81巻第4号をお届けします。今号では入院児，医療的ケア児，子育て外来，母子家庭，重症心身障害児などさまざまな背景や場面に関する研究成果が揃いました。

新型コロナウイルスパンデミックは社会に大きな変化をもたらしています。2022年6月現在，小児での感染は依然として持続していますが，社会全体としてはオミクロン株の感染自体はやや落ち着きつつある様に思われ，このまま感染が収束することを願っている毎日です。少しずつコロナ禍においてできることを増やす動きがでており，学校で行われているプールや修学旅行もようやく再開という段階になっています。その背景には今号の感染症・予防接種レターにあるような現場のさまざまな取組，ご苦労があるこ

とと思います。

最近，2021年の我が国の出生数が81万人台に低下したという大きなニュースがありました。急速な減少の背景として婚姻数の減少も関与しており，これにもコロナウイルスによる社会不安などの影響も考えられます。この様にコロナウイルスは短期的だけではなく長期的にも大きな影響を及ぼすと危惧されます。今号で対象となっている場面それぞれにも影響があるのではないのでしょうか。

生まれてくるお子さんをどう健やかに育ててゆくか，引き続き本誌を中心としてさまざまな職種から多様なアプローチの研究が精力的に行われることを願っています。

(張田 豊)

編集業務に関するお知らせ

「小児保健研究」等の原稿の投稿や編集に関するお問い合わせは下記にお願いします。

〒114-0024 東京都北区西ヶ原 3-46-10 株式会社杏林舎内 「小児保健研究」編集部

TEL：03-3910-4311 FAX：03-3949-0230 E-Mail：jsch_edit@kyorin.co.jp

公益社団法人日本小児保健協会 日本小児保健協会ホームページアドレス http://www.jschild.or.jp/ E-mail：jsch-soc@umin.ac.jp 小児保健研究 第81巻 第4号	
発行所 公益社団法人日本小児保健協会 〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町12-1 トナカイ神田タワー 9階 TEL：03(3868)3093 FAX：03(3868)3092	2022年7月31日 発行 発行人 小枝 達也 編集代表 堀口 寿広 編集業務 株式会社杏林舎